

平成28年度 長岡市・三島郡国語部 活動報告

部長 中林 郁郎

1 研究主題

言語感覚を豊かにし、読みを深める授業

2 研究の概要

(1) 研究の方針

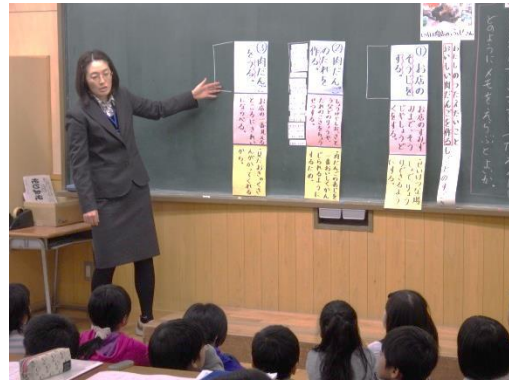
- ア 会員相互の実力を高めるために主体的に取り組むものであること
- イ 焦点を絞った、毎日の国語教室に生きる研究であること
- ウ 会員相互が連帯感を持って取り組み、一部の人の研究にならないようにすること

(2) 研究の内容

- ア 研究主題に基づく授業研究
- イ 国語力伸長のための指導法研修

(3) 取組の内容

- ア 授業研究会
 - ・12月2日(金) 栃尾東小学校
 - ・2年 授業者：萱森ルミ子教諭
 - ・4年 授業者：牛腸 真澄教諭
- イ 分科会・全体会・講演



3 研究の実際

(1) 授業研究会

今年度は、長岡市三島郡国語教育研究会の授業研究会及び新潟県小学校教育研究会の学習指導改善調査研究事業・公開校実践事例報告会を兼ねて行った。栃尾東小学校では、学習指導改善調査の結果及び日常的な国語科学習の課題から「主体的に文章の構成や表現をとらえ、自分の表現に生かす子どもの育成」を研究テーマに設定して取り組んだ。具体的には、他教科との関連を図り学びの意欲を喚起する単元構成、読み書きを関連付けた単元構成、主体的な学習を促す単元ナビゲーションの活用などを研究内容としている。

2年生の授業は、単元「しょうかいしよう！とちおの町のしごと名人」において、「仕事のすごさ」を伝えるという目的にふさわしいメモを選択し、その根拠や理由についてグループで話し合い、紹介文を書くという学習であった。4年生の授業は、総合的な学習との関連を図った単元「刈谷田川リーフレットで魅力を伝えよう」において、魅力が伝わる理由づけの書き方について、グループでの対話を通して修正していく学習であった。

(2) 分科会・全体会・講演

分科会では、二つの公開授業についてそれぞれ協議題を設定し、いずれも「対話的活動が有効に働いたか」を視점에協議がなされた。最後に、長岡市教育センター・内藤貴志指導主事、南魚沼市学習指導センター・山本平生指導主事から適切なお指導をいただいた。

全体会では、研究の概要の説明の後、筑波大学附属小学校主幹教諭・二瓶弘行様から、「確かな言葉の力を育む説明的文章の授業づくり」という演題で講演があった。ご自身の作られた「説明文『自力読み』の学習過程」について、実際に説明文を読み解きながら実践的な研修が行われた。

4 成果と課題

学習指導改善調査の結果を分析し、自校の児童の実態を踏まえて取り組んだ栃尾東小学校の研究実践は、他校のモデルとなるものである。特に単元構成の工夫や対話的な活動は貴重な提案であった。今後は、対話によって思考を深めたり広げたりしていくような授業を構想するなど、次期学習指導要領を見据えて授業を改善していくことが必要である。